さいたま市議会議員（西区選出）

西区生まれ
西区育ち。

金井康博（かない やすひろ）

市政レポート
第16号

中学校正門等にAED設置

平成23年9月29日、さいたま市立小学校6年生の桐田明日香さん（当時11歳）が、駅伝の課外練習中に倒れ救急搬送された後、翌30日に死亡するという大変悲しい事故が起きてしまいました。さいたま市教育委員会では、二度と同じような事故が起きないよう教職員研修のためのより分かりやすいテキスト「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」を平成24年に作成し、教職員研修を充実させて、学校の安全度を高めてきていました。私としては、さいたま市議会令和３年9月の保健福祉委員会で24時間利用できるAEDの仕組みづくりについて質問をしておりました。

この度、さいたま市内の公立中学校58校の正門等にAED（自動体外式除細動器）が設置されることとなりました。これは、株式会社 小山本家酒造及び株式会社世界鷹小山家グループ（西区指扇）より、創業215周年を記念してさいたま市にAED、屋外型AED収納ボックス（計2千万円相当）を寄贈いただきました。これから順次設置がされていきます。

引き続き、24時間使える身近なAEDの設置に取り組んでまいります。

（実際の物とは異なります）

AEDの使い方など応急手当講習を受けてみませんか

さいたま市ではAEDの使用法など応急手当講習を開催しています。大切な命を救うための技術を身につけてみてはいかがでしょうか。

「さいたま市定期応急手当講習」の開催日程と受付状況は、こちらのQRコードからご確認ください

金井康博 市政報告会を開催いたします

11月25日(土)10時から、金井康博の市政報告会を開催いたします。
場所は「馬宮コミュニティセンター多目的ホール」です。
（馬宮コミュニティセンター：さいたま市西区西遊馬533－1）

ご出席いただける方は、電話、FAX、メール、Googleフォーム(QRコードから)どの方法からでも構いません。会場の駐車場には限りがあります。自転車、公共交通機関のご利用もご検討いただけますと幸いです。

事前申込をいただくと当日の受付がスムーズになります。
お名前、ご住所、電話番号をお伝えいただきたいと思います。
●Googleフォームはこちらの QRコードからお願いします＞＞＞

議会で質問した一部をご報告いたします。本会議での質問風景はインターネットからご覧いただけます。

●入札制度（入札ボンド）について

【金井康博質問】入札ボンドは、入札参加者に対して金融機関等で発行される履行保証の予約的機能を有する証書、または入札者が契約を結ばない場合の損失等を保証する証書である。目的は、適切な与信枠の設定等の市場機能の活用を通じ、質の高い競争環境を整備すること。効果として、１つ目、契約履行能力が著しく劣る建設業者の排除。２、与信枠の制約による絞り込み。３、深刻化するダンピングの抑制が挙げられている。さいたま市として、入札ボンド制度の導入もするべきだと考えるが。

【財政局長答弁】入札者の履行能力が確認でき、入札の信頼性が向上する一方で、入札者には保証会社への保険料負担や担保提供、事務負担の増加のほか、金融機関の与信枠の制限の存在等により入札参加意欲が低下し、不調リスクが増加するといった懸念も考えられる。しかしながら、契約履行能力が著しく劣る業者の排除といった効果も期待できることから、特定調達契約、いわゆるＷＴＯ案件のような大型工事案件を念頭に置き、ほかの政令指定都市の状況も確認しながら、制度導入について丁寧に検討していく。

●避難所について

【金井康博質問】避難所は、誰かが避難所に行き、準備をして開設となります。災害時には、停電になってしまうことも考えられる。ふだん電気のある生活が当たり前になっていて、真っ暗な状態で避難所までたどり着けるかどうか分からない状態である。災害時、暗い中、避難所となっている小学校に歩いていっても、校門からさきが真っ暗で、どこを歩いていいのか分からない。太陽光発電のＬＥＤライトと指定避難所の方向を示すＬＥＤ表示板がセットになったものを学校内に整備することで、学校の校門までたどり着けば、避難所までたどり着くことができる。各避難所に、停電時にも稼働するＬＥＤライトの設置をすべきでは。

【副教育長答弁】停電時に校門から体育館などの避難スペースまで、より安全に誘導するための手だてを講じることは、大変重要である。今後、災害が発生していないときに、提案の照明設備等をどのように活用できるのかという観点などから協議していく。

●ペットとの同行避難について

【金井康博質問】福島市では、令和３年９月１日から福島市勤労青少年ホーム体育館を、飼い主とペットが同じ部屋内で、もしくは同じ建物内に避難できるペット同伴避難所として開設することとした。ペットの避難場所は、体育館内のケージの中。飼い主の避難場所は、ペットとの同室を希望する場合は体育館内、ペットと別室で構わない場合は館内の別室を使用可能。体育館内に、飼い主がペットと一緒に過ごせるテントを24張り用意している。現在のさいたま市において、ペットとの同行避難についてどのように考えているのか。

【総務局長答弁】災害時におけるペットの放置や飼い主の二次災害を防ぐため、ペットを連れて避難所に避難する同行避難を原則としており、全ての避難所においてペットの同行避難を受け入れることとしている。人の居住スペースとペットの飼養専用スペースを分け、原則避難所敷地内の屋外に飼養専用スペースを設置している。また、降雨時など屋外での飼養が困難な場合には、昇降口や倉庫など各避難所の設備等に応じ、風雨を避けられる場所にて飼養することとしている。避難所運営マニュアル、避難所におけるペット対応マニュアル及び防災ガイドブック等に掲載し、市民周知を図っている。避難所運営訓練においてペットの同行避難訓練を実施しているが、より一層避難所運営委員会における認識の共有を図っていく。

●西遊馬地区河川防災ステーションの活用について

【金井康博質問】西区の西遊馬地区に、国土交通省でさいたま築堤に附属するような形で盛土が行われ、そして河川防災ステーションの建設が進んでいる。盛土が終われば、さいたま市にて管理用施設を建設すると伺っている。東京都北区にある浮間の防災ステーションを視察してきた。平時は、一般向けにトイレが開放されている。さいたま市が造ろうとしているものはどのようなものになるのか。サイクリングの方々向けや、または地域の方々向けの利用など活用をどう考えているのか。

【建設局長答弁】河川防災ステーションの施設の一部として計画している水防センターについは、水防活動に資することを目的に本市と国で連携し、整備するものである。現在、国と施設の建築内容について協議を行っている。荒川の堤防に隣接して整備を行っていることから、サイクリングの方々や地域の方々にも利用していただけるような活用方法について検討していく。

●びん沼沿いの車両駐車対策について

【金井康博質問】荒川右岸にびん沼川がある。埼玉県が管理する河川で、ヘラブナ釣りを楽しんでいる方々も多いのも特徴である。釣りなどを楽しんでいる方の車両駐車の問題がある。近隣民家の出入口付近にまで車が止まるなど、トラブルが発生している。対岸の富士見市側には駐車場が220台分整備されているが、さいたま市側にはない。さいたま市として、車両駐車を減らすための対策を取ってきたのか。さいたま市側も駐車場の整備をすることでトラブルを防ぐことができると考えるが。

【建設局長答弁】平日、週末を問わず、多くの釣り人などが自動車で訪れ、河川管理用通路に駐車している状況である。河川管理者である埼玉県が主催している新河岸川放水路等の釣り人による迷惑行為等の対策会議が令和３年度より開催されている。この会議は、びん沼川に関係する埼玉県、さいたま市、川越市、富士見市、ふじみ野市の関係自治体で構成され、河川管理者や道路管理者などが参加している。会議の内容としては、駐車問題のほか、釣り人へのマナー啓発など、様々な課題に対し、その対応策の話合いを行っている。市として、車両の駐車対策等について、引き続き当該会議に出席し問題解決に向けて協議を継続していく。

●新川の整備について

【金井康博質問】住宅側の、法肩にフェンスが整備されている。このような状況では、少し殺風景ではないかなと感じている。下流には鴨川が流れており、ソメイヨシノが植えられ、桜を見に来られる方も多い。カワヅザクラなど時期がずれても楽しめるようなものを整備してはどうか。また、市民がこの周辺を歩いて楽しめるような所、遊歩道やベンチ、あずまやなど整備していくことは。

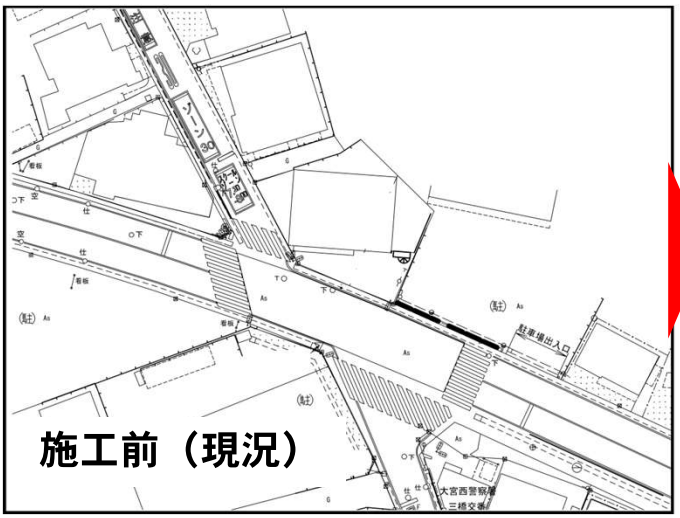
【建設局長答弁】管理用通路内に樹木の植樹を想定した幅員となっていない。護岸法面については、樹木の根などにより護岸の機能を損なうことから、管理用通路脇や法面などに桜の植樹は難しい。しかし、桜などの植樹についは、魅力向上の観点からも、河川改修に伴い生じた旧河道用地などの活用を検討していく。河川区域は連続した水辺空間として、市民の生活に潤いや安らぎを与える貴重な空間である。市民の方々が水辺に近づけるような河川構造や河川改修に伴い生じた旧河道用地などにベンチなどを設置するなど、居心地がよく歩きたくなるような空間づくりに向けて検討いく。

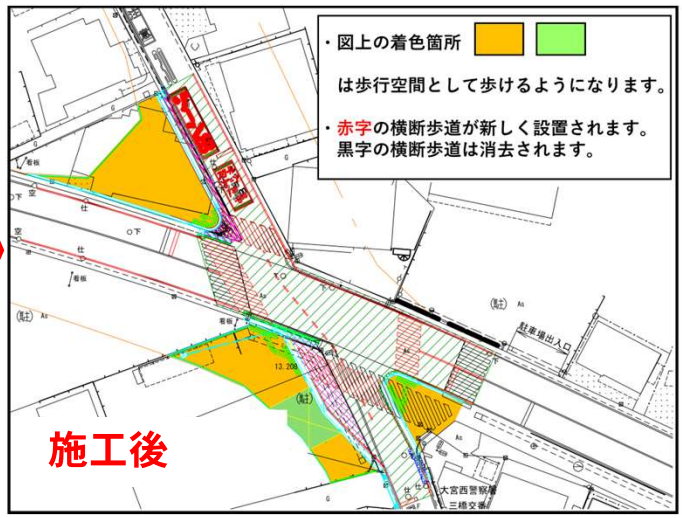
★その他にも下記の項目について質問しています。インターネットでご覧ください。

- 防災倉庫について
- 緊急輸送道路について
- 災害廃棄物の置場について
- トレーラートイレの導入について
- ドッグランについて
- 遊んで・学べるキャンプ場の整備
- ビックイベントにおける協賛金の集め方について

三橋交番前交差点の改良工事が始まりました

危険な交差点として、マスコミ等でも問題にされていましたが、小中学校の通学路でもあるため少しでも安全が確保できるよう工事が始まりました。



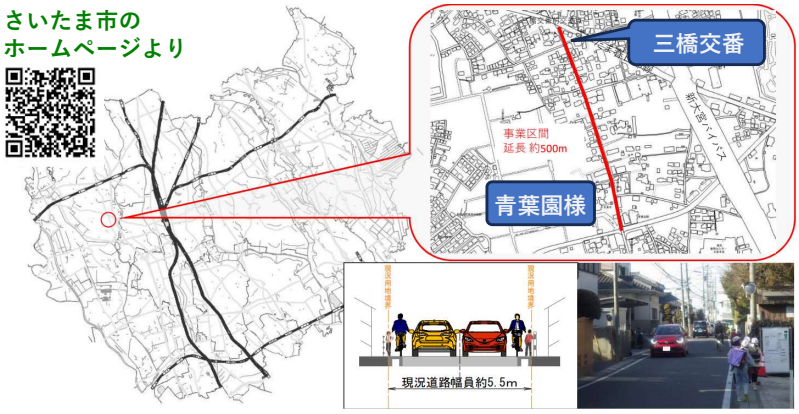


※令和5年10月現在の計画となります。横断歩道の計画位置などは、交通管理者等の協議によって変更となる可能性があります。

一般県道大谷本郷さいたま線（三橋）の事業計画説明会が開催されました

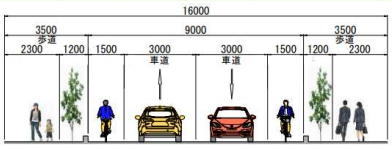
道路幅員は約5.5m程度で大宮西小学校や大宮西中学校の通学路となっていますが、歩道が整備されていないため、登下校時には車の脇を多くの子供たちが通行している状況です。自動車交通量は5,500(台/12h)、歩行者・自転車は約1,500(人・台/12h)が通行しています(令和3年度交通量調査より)。
また、災害直後に、避難や救助、物資供給等応急活動のための、緊急輸送道路にも位置づけてされています。

さいたま市のホームページより



【全体スケジュール】

【標準部】計画断面



金井康博プロフィール

昭和48年1月6日
現さいたま市西区水判土 生まれ
（現在も西区水判土在住）

〈経　歴〉
- 昭和63年 大宮市立植水中学校卒業
- 平成3年 埼玉県立浦和東高校卒業
- 平成9年 東洋大学工学部 土木工学科卒業
- 平成9年 ㈱ガイアートクマガイ入社（平成14年退社）
- 平成14年 ㈱イマギイレ入社（平成27年退社）
- 平成27年4月 さいたま市議会議員選挙初当選（現在3期目）

〈家　族〉
妻、長男、長女、次男、ねこ（5匹）、犬（1匹）

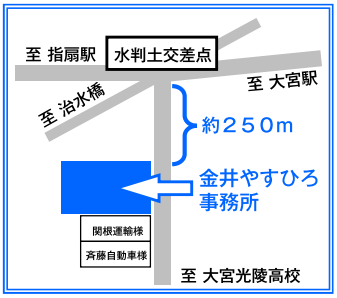
－会派内 役職－
政調会長

－さいたま市議会 所属委員会－
- 文教委員会
- 議会改革推進特別委員会（副委員長）
- 決算特別委員会（理事）
- 議会運営委員会（理事）
- 議会広報編集委員会

〈主な所属団体等〉
- さいたま市消防団植水分団
- さいたま市西区防災アドバイザー協議会
- ボーイスカウトさいたま第11団育成会会長
- 大宮自衛隊協力会
- 彩衛会
- あけぼの会
- 埼玉県防衛協会
- 馬宮地区ソフトボール協会会長
- 大宮女子ソフトボール愛好会副会長
- 大宮アルディージャ後援会
- 実践倫理宏正会
- さいたま新都心倫理法人会
- さいたま欅ロータリークラブ

市民の皆様からのご意見・ご要望をお寄せください

さいたま市議会議員（西区選出）　金井康博
事務所住所：〒331-0057 さいたま市西区中野林409-4
TEL：048-788-2420 ／ FAX：048-788-2421
E-mail：voice@kanai-nishi.com
HP：「金井やすひろニュース」で検索



公式ラインアカウントを開設しております。皆様に身近な情報等を提供してまいります。ぜひご登録ください。

@686pnxdu